事	務事業評	平価シー	- <b>-</b>	事業種別	継続	単独	事業類型	V	施設の管理・運営		1次評価のみ対象分
		コード	名	称			区分	コード	名	称	
2	事業名	585	教育集会所管理経費				会計	01	一般会計		
	チベロ	•	<b>秋月米公川日</b> 桂桂萸				款	10	教育費		
31	本施策	38	互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する				項		社会教育費		
至	5 个 他 来	30	立いを認め合い、すべくの人の人権を専生する	) o			目	80	教育集会所費		
	施策	4	人権施策の総合計画		•		細目	101	教育集会所管理経費		
	ル 束		入権心束の総合計画				細々目	01	教育集会所管理経費		

551200 いがまち人権センタ・

事業0	回信の	- 内容

基本計画該当頁 行革大綱の重点事項番号

 7.7	の計画・	· M 吞									
¥			対象等(何が、	誰が)		成果(どうなるのか)					
争業目的	地域住	民			部	7落問題をはじめあらゆる差別問題の解決に向けた取り組みの拠点となる場が提供される。					
				対象件数 640	)						
開如	冶年度	平成 年月	関連事業								
終	了年度	平成 年月	根拠法令·要綱等								
			音楽教室·中学生地区 · 高熱水費管理業務· カ	学習会・中・高校生友の会・父母の会) 施設維持修繕業務)	》 3 1	状 況 変 当集会所は、人権・同和教育の拠点として広く市民に利用してもらうためにも、活動しやすい環境づ なりが必要であり、日常の管理に万全を期さなければならない。 (と					

### 整備内容

亚洲以谷				
1 建設用地			_	
2 建設面積	(延床面積)			
3 規模•構造	<u> </u>			
4 総事業費				<b>和</b>
運営体制 1 運営主体		✓直営	□指定管理	□民間委託等
2 配置(予定 3 年間運営	費			2 人 3,740 千円
4 市内の類	似施設			

### 事業実績

担当部課 コード 名称

<b>学</b> 条关模								
活動指標	単位		実終	責値	目標値			
/口到7日1示	中位		H18		H19	H20	H21	
開館日数	日	目標	288		288	288	288	
	п	実績	288	実績	288	200	200	
各種教室開催回数		目標	329	目標	330	330	330	
<b>台悝</b> 教主用推凹数	E	実績	329	実績	330	330	330	
		目標		目標				
		実績		実績				
		目標		目標				
		実績		実績				
		目標		目標				
		実結		実績				

北川幹洋

45 (内線)

連絡先

# 評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位		実績	責値	目標値		
争未の成木を別る指係	旧様政権の考え力	中位		H18		H19	H20	H21
施設延べ利用率	地区内外住民が教育集会所を利用することにより人権意識の工場が高まり、部落問題をはじ	04	目標	64	目標	64.2	65	65
心放進へ利用率	めあらゆる差別問題の取り組みにつながることから施設の利用率を指標とした。	90	実績	63.5	実績	64	00	03
			目標		目標			
			実績		実績			

## 評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性		当集会所は、人権同和教育の拠点として広く市民の活動を行う場として各種教室や各種サークルの場として提供を行っている。今後においても部落差別が現存している限り、集会所で の人権・同和教育を主体とした事業展開が必要である。
有効性	4	年間を通じて、児童・生徒の利用率が高いが青年層以上の利用率が低い。今後、各種サークル活動等の開設を実施しながら参加者の拡大を図る。
達成度	3	ほぼ計画通り達成できた。
効率性	3	計画的に修繕等維持管理に努めてきた。コスト削減の余地はないが、なるべく現状を維持していく。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	計画的に修繕等維持管理に努めているがさらにコスト削減を図るため高熱水費等削減に努める利用者に周知を促す。

	年度					平成18年度 決算内容					平成19	9年度	決算	内容	平成2	0年度	計画	内容	平成21年度 計画内容				
	十段					事 業	内容	数量	単位	金 額	事業!	内 容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額
進		$I \wedge I$								(千円)					(千円)				(千円	)			(千円)
~	委託	$K \square$	$\forall \lambda$			委託料				192	委託料				192	委託料			(	委託料			0
捗		٧	X		-	需用費				2,212	需用費				2,371	需用費			3,146	需用費			3,200
					争業	その他				1,516	その他				1,424	その他			594	その他			600
状	工事	1 k	$\sqrt{1}$	}	井内																		
l			$\sqrt{}$	[	容																		
況					-																		
				\																			
進	捗率																						
(	(%)					事業費	H(A)		Σ	3,920	事業費的	†(A)		Σ	3,987	事業費計(A)		Σ	3,740	事業費計(A)		Σ	3,800
		事業	投入人員			人件費	(B)	0.4	人	2,880	人件費(	B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880
		フルコス	t (A) ተ	·(B)				_		6,800					6,867				6,620				6,680

### 事業費(人件費除く)の財源内訳

77	P未覧(人計算隊V)の対線的歌												
(A)	事 業 費	3,920	3,987	3,740	3,800								
	国庫支出金												
A	県 支 出 金												
の財	地 方 債												
源	受益者負担												
内	その他												
訳	一般財源	3,920	3,987	3,740	3,800								
ш (	計	3,920	3,987	3,740	3,800								
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等												